

シ避クベカラザル欠点ト見做シ得ルモノナリ、今假リニ各部
曲線中最モ近似セル曲線ヲ選ビ平均ヲ試ミタルニ記憶ト注意
發育曲線トガ甚ダ形状ニ於テ近似スルガ故ニ此ノ兩曲線ノ平
均ヲ試ミニ製作セリ。

其ノ曲線ハ第二表及ビ第二圖ノ記憶ト注意トノ平均曲線トヲ
參照セヨ。

注意實驗ガ尋常一年ニ於テ生徒ノ學術程度ガ其ノ實驗方法ニ
適セザルガ爲メ第二年ヨリ測定セルヲ以テ其ノ平均トシテハ
記憶ニ於テモ尋常二年ヨリ採用セリ、即チ男子ノ平均年齢ハ
八・〇九年ニシテ曲線ハ之ヨリ始マリ一〇・一年ニ至ル迄一直
線ニ甚ダ急激ニ増進シ、一〇・一年ト一二年迄ハ身体曲線
ノ發育遲鈍期ト一致シテ發育遲鈍トナリ夫レヨリ又一二・二
年ニ至ル迄ハ急激ニ上昇シ、二三・二年迄ハ再び遲鈍トナリ、
一四・一年迄ハ又多少上昇シ一七・五年迄漸次上昇シ、夫レヨ
リ以上ノ年齢ニ於テハ上昇スルニ甚ダ遲鈍トナリ、一九・一年
乃至二〇・二年ニ至ル迄ハ殆ド停止ノ状態ナリ。女子ニ於テ
ハ八・二年ヨリ十年ニ至ル迄ハ急激ニ上昇シ、而モ九年附近ニ
於テ男子線ヨリ上ニ昇リ一・二年迄ハ發育遲鈍トナリ、一
一・二年附近ニ於テ男子曲線ト交叉シ男子ヨリモ下ニ走リ一
二年ハ多少上昇スルモ男子曲線ニ及バズ一三・二年ニ於テハ
曲線一時下落シ益々男子曲線ト遠ザカリ一四・二年ニ於テ急
ニ上昇シ男子曲線ノ高ナニ達シ、之レヨリ男子曲線ヲ凌駕シ
一六年ニ至リ男子ヨリ甚ダ高ク一八・四年ニ於テ頂点ニ達シ
一九・二年ハ其ノ曲線下落ス即チ女子ノ發育ノ頂点ハ一八・四
年ニ相當ス。

今身体代表曲線ト比較スルニ男女共八年附近ヨリ一〇年附近
ニ至ル急激ノ上昇ハ身体ノ曲線トヨク一致シ、一〇年一一年
附近ノ發育遲鈍モ亦身体曲線ト一致スレドモ比較的短キ期限
ニ表ヘレ女子春情期ニ於ケル低落ハ殆ド身体曲線ノ同年期間
ニ於テ身体曲線ヨリ約滿一年以前ニ表ハレ、男子ノ身體發育
停止期ハ一八・五年ナルモ此ノ精神平均曲線ニ於テハ略一七・
五年ニ表ハレ確實ニハ一八・一年ニ停止ス。女子ノ身體發育
停止期ハ一八・五年ナルモ精神發育ニ於テハ確實ニ一八・四年ナ
リ。

第二 記憶、聯想、注意平均曲線ニ就テ

此ノ平均曲線ハ聯想ノ曲線中女子尋常四年ニ於テ其ノ曲線ガ
非常ニ暴落スルガ爲メ男子ハ女子ノ曲線ノ上ニアリテ前ノ記
憶注意曲線ノ如ク女子男子ヨリ優勢ナラズ、一・一・五年ニ於
ケル女子ノ曲線モ亦男子ヨリ下ニアリ、一・二・五及ビ一・三・五
年ノ春情期低落ハ記、注兩曲線ト同様ナリ、且ツ一六年以上
ノ年齢ニ於テ記、注曲線ヨリモ女子ノ曲線ガ男子ノ曲線ニ接
近シ又、女子ガ男子ヨリモ優勢ナルコトハ前曲線ト同様ナリ、
男女共八・九、一〇・五年附近迄ハ急激ニ上昇スルコト一〇・五
年ヨリ一・一・五年附近頃ハ發育男女共遲鈍トナリ、一・二・五年
ヨリ一・二・五年頃迄ハ女子ハ男子ニ及バザレドモ(春情期ノク
メ)再び急激ノ上昇ヲナシ、一・二・五年ヨリ一・三・五年頃迄ハ
再び遲鈍トナリ、一四・五年ニ至ル間ハ男子ハ發育遲鈍、女
子ノミハ再び急激ノ上昇ヲナシ大略此ノ点ニ於テ男子線ト交
又シ、一六年迄ハ女子ハ急激ノ發育ヲ續行シ此處ニ女子ハ大略

發育停止期ヲ生ズレドモ一八・四年迄ハ徐々トシテ上昇シ
一九・二年ハ再び下降ス。男子曲線ハ一四・五年迄ハ既ニ前述
セリ、夫レヨリ以後ハ大ナル差ニアラザレドモ常ニ女子ノ下
ニアリテ且ツ、一六・八年以上ノ年齢ハ二〇・二年ニ至ル迄最
早少シモ曲線ハ上昇セズ一直線ニ並行シテ走ルモノナ
リ。即チ男子ノ發育停止期ハ此ノ記、注、聯平均曲線ニ於テ
ハ一六・八年即チ一七年附近ニ於テ全ク發育停止スルモノナ
リ、之レヲ女子發育停止期ト比較スレバ約〇・八年ダケ男子
ハ遅ク發育ス。

男女ノ曲線ノ形状殊ニ男子ニアツテハ記憶曲線ノ形状ニ酷似
スルモノナリ、即チ一個ノ對數曲線ノ形状ヲトリツ、發育ス
ルモノナラン其ノ對數曲線ノ數學式ハ他日之ヲ發表セン。

今身体曲線ト此ノ曲線トヲ比較セントス、男子ニ於ケル身體
發育停止(九・五年ヨリ一・五年)ハ記、注、聯平均曲線ニ
於テハ僅ニ一〇・五年ヨリ一・五年位迄短期ニ表ハレ、一
三・五年ヨリ一四・五年ニ至ル身體發育遲鈍期ハ大略一致シ、
次ニ身體ニ於テ一八・五年ニ表ハルベキ發育停止期ハ此ノ曲
線ニ於テハ一六・八年ニ表ハル、次ニ女子精神發育曲線ハ八・
五年ヨリ一〇・五年ニ表ハルベキ身體發育遲鈍ガ一〇・三年ヨ
リ一・五年ニ表ハレ、次ニ身體曲線ニ於テ一〇・五年ヨリ一
二・五年ニ表ハルベキ上昇ハ精神曲線ニ於テハ一・五年ヨリ
一・二・五年ニ至ル。一三年、一四年、一五年ニ至ル女子ノ大
上昇ハ精神曲線ニ於テハ反對ニ遲鈍トナリ、一・二・五年ヨリ
一三・五年ニ至ル間ハ特ニ男子ヨリ劣ル、女子ノ身體發育停
止期一八年ハ精神發育曲線ニ於テハ一六年ニ表ハレ、曲線ノ

最高点ヲ完全ノ停止期ト看做セバ一八・四年トスルコトヲ得。
(以上此ノ第二條下ニアル表ト曲線ハ第二表及ビ第二圖中記
注、聯平均曲線ヲ參照スベシ)

第三 記憶、聯想、注意、感情平均曲線ニ就テ

此ノ平均曲線ハ前二曲線ヨリモ感情曲線ヲ加ヘタルモノニシ
テ、精神ノ各部ヲ最モ多ク含有シ最モ理想トスル處ノ曲線ナ
リ。
先ヅ男子曲線ヨリ述ベンニ、八・五年ヨリ一〇・五年ニ至ル間
ハ急激ニ發育シ、同年ヨリ一・五年迄ハ發育全ク停止シ、
同年ヨリ一・二・六年迄ハ再び急激ニ發育シ、同年ヨリ一・三・五
年迄ハ發育遲鈍トナリ、同年ヨリ一四・八年迄ハ多少急激ニ
昇リ、同年ヨリ一七年迄ハ再び遲鈍トナリ、同年ヨリ一七・
九年迄ハ益々遲鈍ノ發育ヲナシ、同年ヨリ二〇・一年ニ至ル
迄ハ殆ド一直線ヲ以テ發育全ク停止ス、即チ全平均精神曲線
ハ男子ハ一七・九年ニ於テ完全ニ發育停止ヲナスモノナリ、
男子曲線ノ全体ノ形状ヲ見ルニ實ニ整然トシテ一定規則内ニ
アル曲線ノ形状ヲ表スモノニシテ其ノ曲線ノ形状ハ正ニ數學
的對數曲線ノ形状ヲナシ年少ノ時代ニハ急激ニ上昇シ年ヲ重
スルニ從ヒ漸次發育遲鈍トナリ一七・九年ニ至テ全ク軸ト
殆ド完全ニ並行スル處ノ吾人ノ理想ニ甚ダ近キ曲線ナリ(但
シ數學式ノ發表ハ他日ニ譲ル)

女子ノ曲線ハ八・七年ヨリ九・五年迄ハ急激ニ上昇シ殆ド男子
ノ曲線ト同所ニ發育スルモノ一〇・五年ノ一点ガ聯想曲線尋常
四年ノ暴落ノ影響ヲ受ケ他ノ二平均曲線ト同ジク男子ノ曲線

ト同走スベキ密ナルモ、方ニ於テ男子曲線ガ感情曲線ノ影響ヲ受ケ(一〇・五年)少シク上昇セルニヨリ同年ノ男女ノ差ハ頗ル大トナリ女子四〇ダケ低シ、一〇・六年ニ於テハ男子ノ点ト殆ド相一致シ即チ吾人ノ理想ニ於テハ八・七年ヨリ一〇・五年迄ハ女子曲線ガ急ニ上昇シ、同年ヨリ一〇・六年迄ハ少年トモ遲鈍トナルベキモノナレド、一〇・五年ノ低落ニヨリテ少シク理想ヨリ遠ザカレリ、一二・七年及一三・七年ハ春情期ト見做スベキ殆ド總テノ女子曲線ニ表ハル、發育遲鈍時期ニ移リ此ノ間常ニ男子發育程度ヨリモ低ク、同年ヨリ一四・七年ニ至リ女子曲線ハ甚シク男子ニ近付キ遂ニ、一六年ニ至リ男子曲線ヨリ上ニ昇ル、男女線ノ交叉点ハ大約一五・二年ニアリ、一七・一年ニ至ル迄ハ徐々トシテ發育シ再ビ一八・四年ニ至リ頂点ニ達シ、一九・二年ハ再び下降シテ一七年ノ程度ニ達ス、全体ノ曲線形狀ハ一〇・五年迄ハ一直線ニ昇リ夫レヨリ一三、一四年ノ低落ガ存在スルダモ殆ド直線ノ形狀ヲナシテ一八・四年迄上昇スル處ノ直線ニ近キ形狀ヲ有ス、且ツ一六年以上ノ年齢ニ於テハ悉ク男子ヨリモ優秀ナリ。次ニ身体曲線ト比較センニ女子ニ於テハ身体曲線ノ八・五年ヨリ一〇・五年迄ニ至ル發育遲鈍ハ精神曲線ニ於テハ一〇・五年ヨリ一〇・六年ニ表ハレ、身体發育上ニアル一二年ヨリ一五年迄ノ春情急發育時期ハ、精神發育ニ於テハ約一ケ年早ク表ハル、身体發育停止期ハ一八年ニシテ女子精神發育停止期ハ其ノ最高点ナル一八・四年モ、總テ女子ノ發育停止ハ男子ヨリモ大約一ケ年ハ早キガ故ニ此ノ場合ニ於テモ一七年附近ノ上昇点ガ停止時期ト見做シ得ベキモノナリ。

男子ニ於テハ身体發育曲線中ノ約九・五年ヨリ一〇・五年迄ノ發育遲鈍ハ精神發育曲線ニ於テハ一〇年ヨリ一一・五年ノ一ケ年ニ表ハレ、身体曲線ハ其後ノ年齢ニ於テ殆ド直線ヲナシテ上昇スルモ、精神曲線ハ一ツノ對數曲線ノ一部分ノ形狀ヲ以テ發育シ、一八・五年ニアル身體發育停止期ハ精神曲線ニ於テハ一〇・七年ダケ早ク表ハレ即チ一七・八年ニ表ハル。以上ノ事實ヨリ要領ヲ擧グレバ左ノ如シ。

- (一) 男子ノ精神發育曲線ハ理想的發育曲線即チ對數曲線ノ形狀ニ酷似ス。
- (二) 一〇年、一一年附近ニアル身體發育遲鈍期ハ精神曲線ニ於テハ僅カ一ケ年ニ表ハル、且ツ男女共ニ其ノ傾向アリ。
- (三) 身體發育曲線ハ男子ニ於テハ一一・五年ヨリ一八・五年迄殆ド一直線ニ上昇スルモ男子精神曲線ハ對數曲線ノ一部分ニ酷似スル曲線ヲ以テ一七・八年迄發育上昇ス。
- (四) 身體發育停止ハ男子ハ大畧一八・五年ナルモ精神發育停止ハ一七・八年

附近ニテハ、
(五) 男女共精神發育ハ八年ヨリ一〇年迄ハ甚ダ急進ス。

(六) 女子ノ春情期ガ精神發育ニ影響スルコトハ大略一二・五年ヨリ一三・五年附近頃迄著明ナリ、且ツ此ノ時代ハ女子ノ發育ハ男子ニ及バズ。

(七) 女子精神春情期變動ハ身體發育變動ヨリモ約一ケ年早シ

(八) 女子精神發達ニ於テ一六年以上ハ男子ノ發育ヨリモ少シク大ナリ。

(九) 女子ノ精神發育停止ハ其ノ身體發育停止期(約一八年)ヨリモ約一ケ年早ク即チ一七年頃ニアリ。

(十) 女子ノ精神發育曲線形狀ハ殆ド三個ノ直線ヨリ成立ス、八年ヨリ一〇・五年迄一ツ直線、一〇・五年ヨリ一八・五年迄一ツ直線、一八・五年ヨリ一

九・二年迄短キ直線ナリ。

(十一) 女子春情期ニ於ケル急速ノ身體發育期ノ精神發育ハ之レト反對ニ一時遲鈍トナル。

以上ノ本論文結果ヲ見ルニ八年ヨリ約二〇年迄ノ精神發育結果ハ大略得知シタルヲ以テ其ノ結果ヲ一般ニ應用スレバ多少社會ヲ裨益スル處アラシク其ノ結果ヲ應用スル範圍ハ余ノ淺薄ナル智識ヲ以テ考フレバ大略左ノ如シ。

- (一) 現今法律ニ於ケル責任能力ニ關スル法令ノ改正ナリ、蓋シ身體及ヒ精神ノ發育停止時期カ此ノ研究ニヨリテ決定シタル以上ハ從來ノ滿二十年ヲ以テ丁年トスル必要少シモナキガ如シ。
- (二) 二十年ヲ以テ丁年トスルヨリ余ノ研究結果タル男子身體發育停止期十八年半及ヒ精神發育停止期十七・八年ニ改正スレハ有爲ノ壯年期間ヲ少ナク下モ一ケ年半以上延長シ得ルモ

ニシテ國家ノ經濟上幾何ノ影響アルヤ。

(三) 幼年法ニ關シ余ノ研究結果ハ多大ノ影響ヲ及ホス。

(四) 徵兵適齡ノ改正、滿二十年ヲ以テ適齡トスルヨリ少クモ十八年半トスル方兵員ノ増加及ヒ兵士ノ衛生狀態ニ好良ナル影響ヲ及ホス(一種ノ兵士花柳病減少策)

(五) 丁年期ヲ十八年半以前ニスレハ現今普通及ヒ高等普通學規定制度ノ改正ヲ要スルヲ。

(六) 各年齡ニ於ケル精神發育ノ狀態ヲ詳ニシ得タルヲ以テ其ノ結果ニ適應シタル完全ナル教育方法ヲ施スコトヲ得。

(七) 女子ノ精神發育程度カ十六年以後三於テハ男子ヨリ同等以上ナルヲ以テ

目下問題タル女子高等教育ニ關シ唯一ノ材料トナル。

(八) 余カ研究シタル發育狀態ヲ應用スレハ少クトモ學校衛生又ハ一般衛生上大ナル資料トナル。

明治四十三年ヨリ、七年ヨリ二十年ニ至ル精神發育研究ヲ始メ大正九年三月二十五日ヲ以テ全部研究ヲ終リタリ、其ノ間滿十ヶ年ヲ越ニ、只餘ス處ハ精密ナル同年内ノ生徒ノ感情發育實驗研究ナリ、此ノ研究ハ精密ナル實驗機械ト多大ノ日數ト費用ヲ要スルヲ以テ他日其ノ成績ヲ發表シ得レハ幸ナリ。

完 成

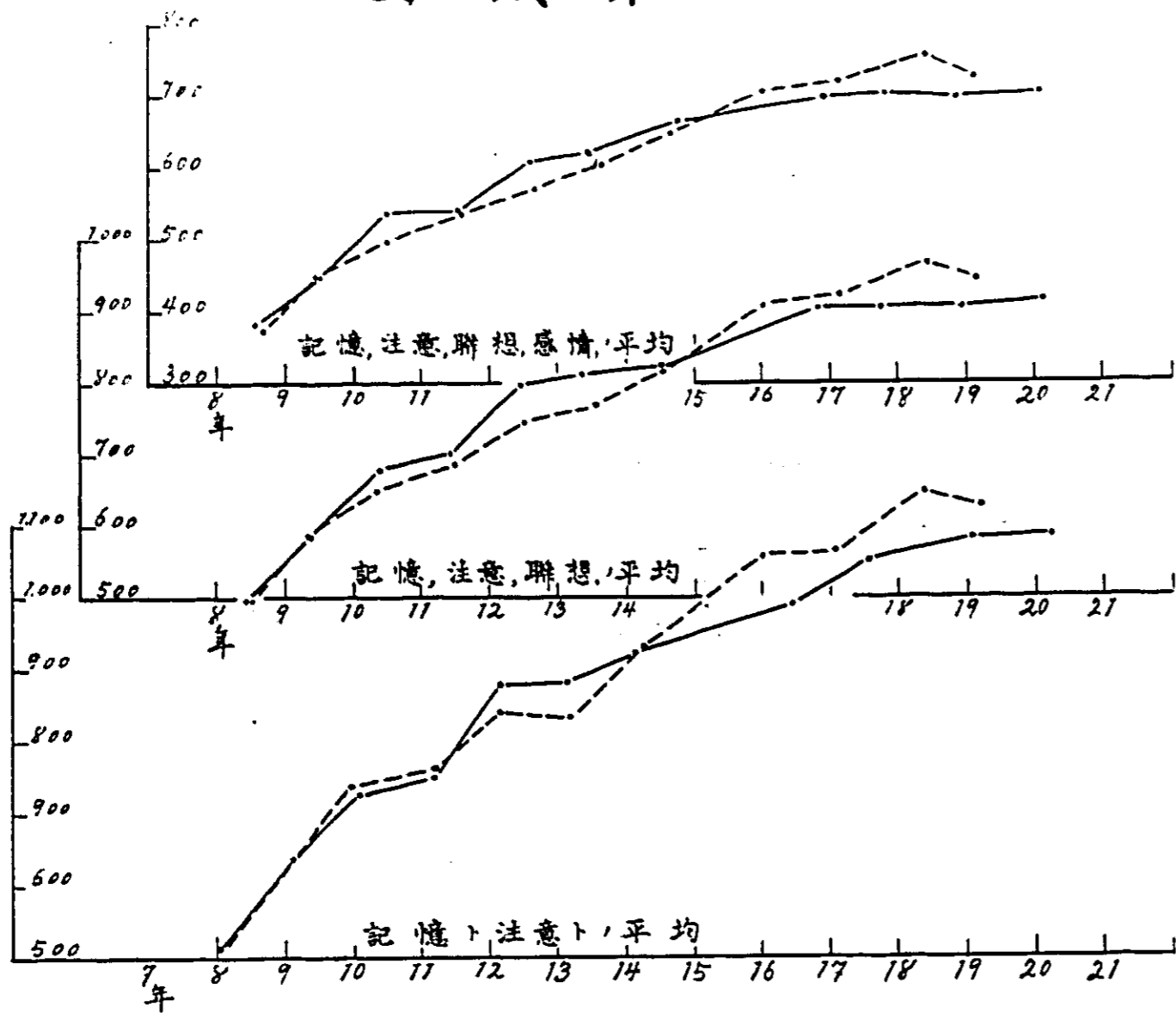
大正九年三月二十六日

廣 告

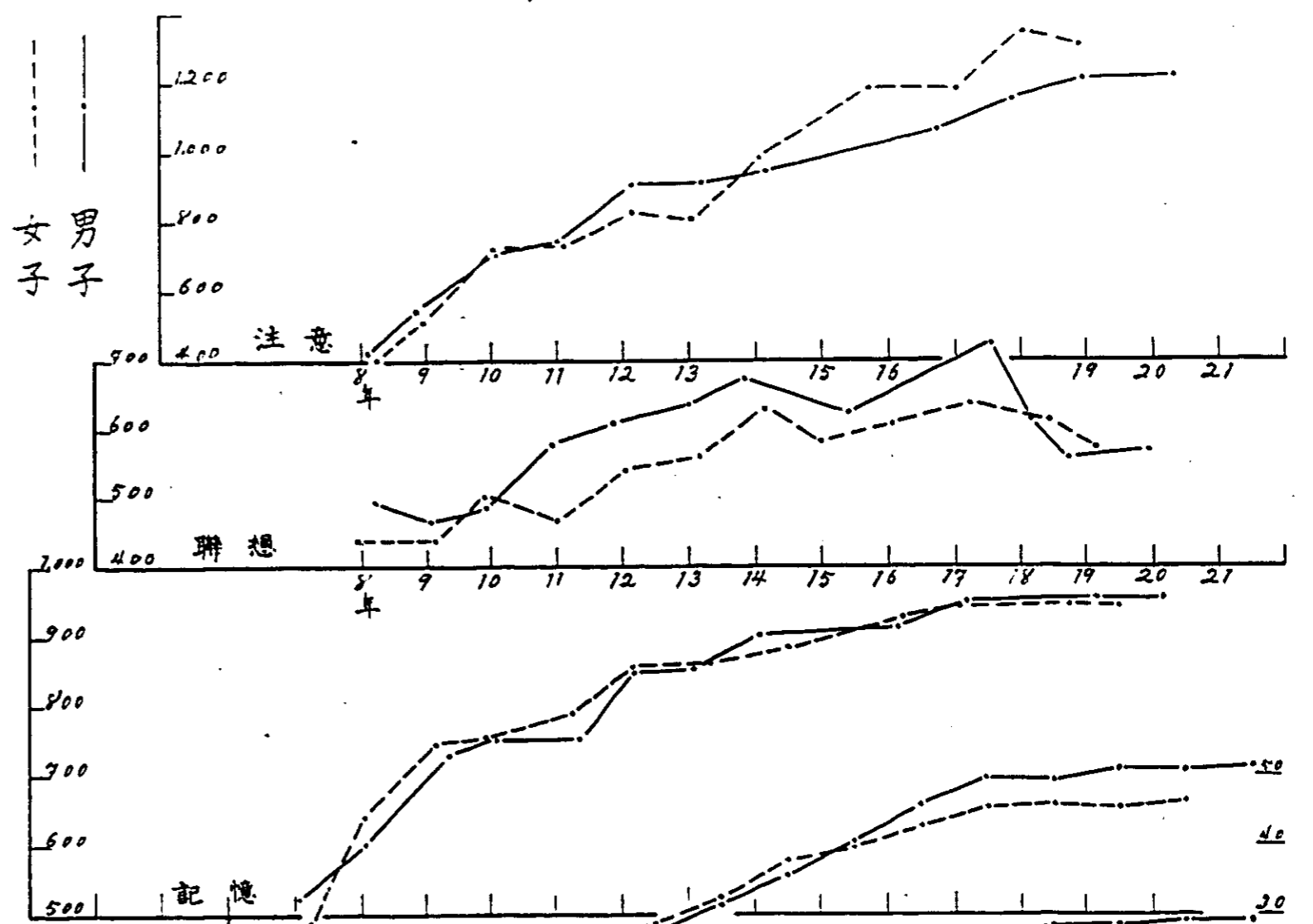
(一) 女子精神發育ニ對スル意義、及ニ其ノ發育ニ關スル事項ヲ詳ニシタルヲ以テ其ノ結果ニ適應シタル完全ナル教育方法ヲ施スコトヲ得。

此ハ二平並ニキ直懸ナリ。

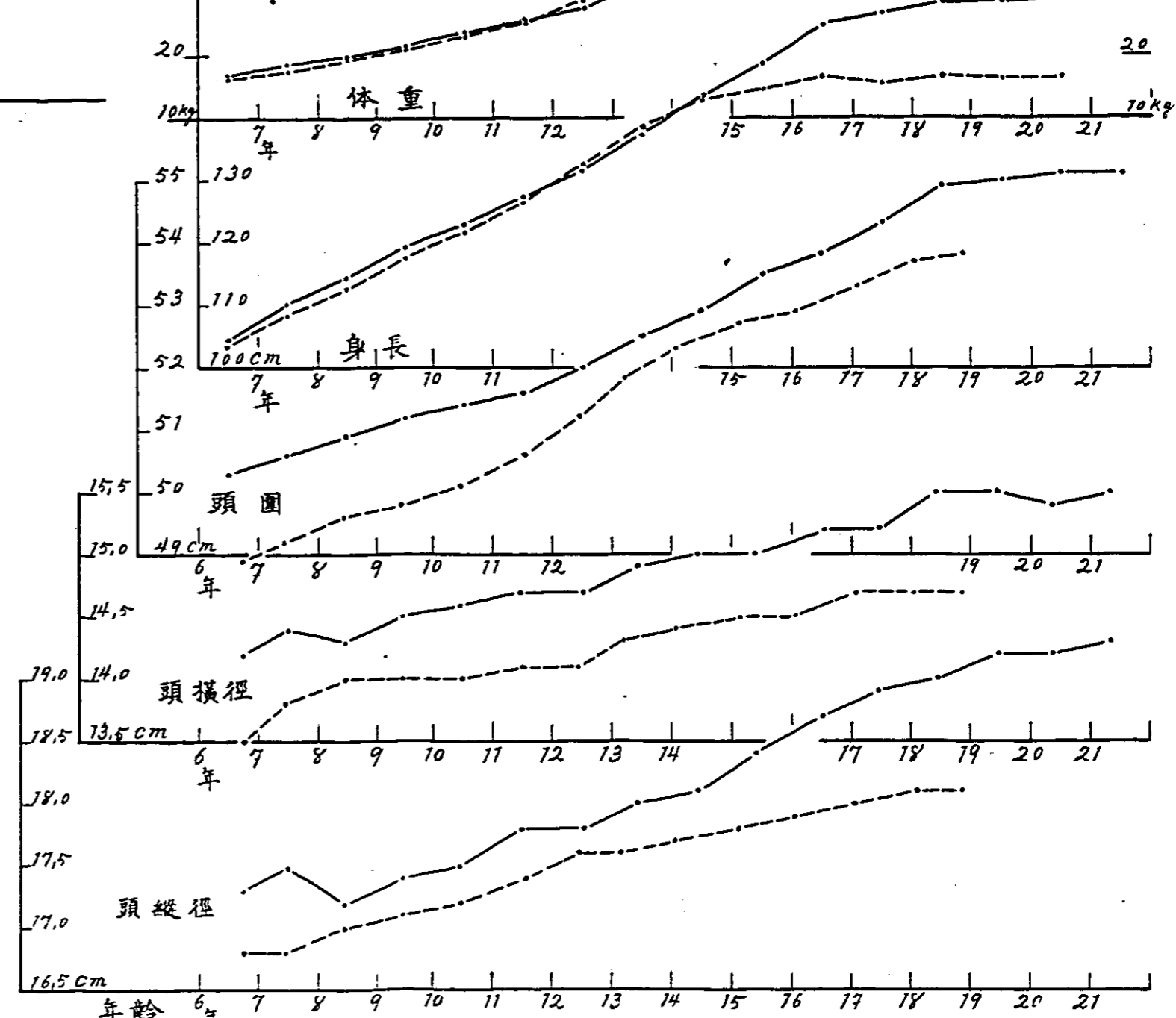
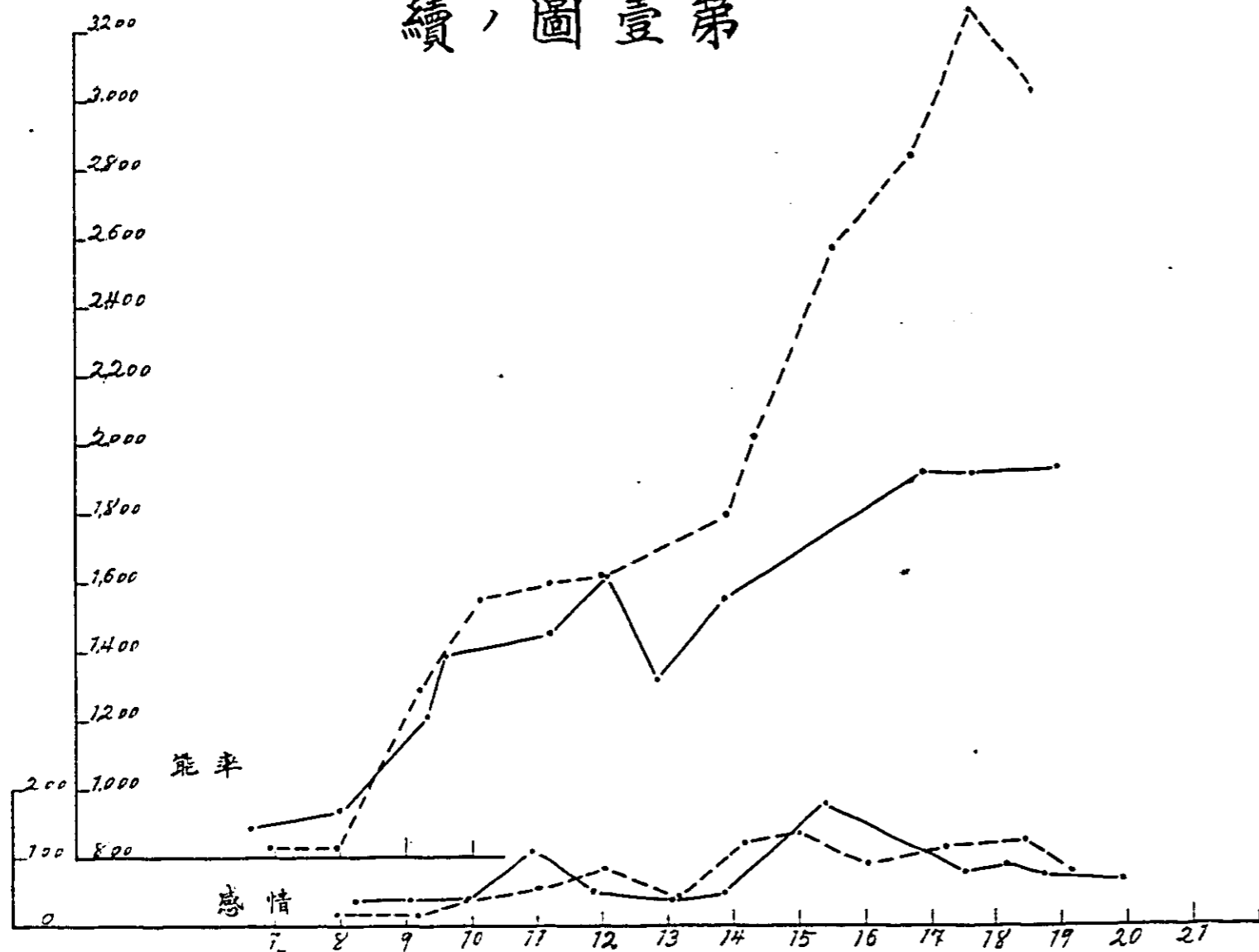
圖貳第



圖壹第



續, 圖壹第



| 平均諸記 | | | 平均諸記 | | | 平均諸記 | | | 平均諸記 | | | 平均諸記 | | | 平均諸記 | | | 平均諸記 | | | 平均諸記 | | | 平均諸記 | | | 平均諸記 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 | 女 | 男 | 年 |
| 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

第二表

